

富山県特別支援教育将来構想（案）に対するパブリックコメント等の概要について

- 1 意見募集の期間 令和4年2月22日（火）～令和4年3月14日（月）
- 2 意見の提出数 7通、22件
- 3 主な意見の概要及び対応状況（詳細については、参考資料2参照）

番号	項目	主なご意見の概要	対応状況
1	はじめに	障害者権利条約、障害者基本法、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法(案)を踏まえた、障害の社会モデルへの考え方への転換	<u>将来構想（案）に記載（P2、P11）</u> インクルーシブ教育システムの理念に基づいた特別支援教育の振興 分かりやすい情報の提供の推進
2	I-2 多様な学びの場の整備・充実	指導に当たる教員の増員、特別支援教育コーディネーターの専任化、専門性を十分に発揮できる人事異動の配慮	<u>将来構想（案）に記載（P5）</u> それぞれの学びの場における指導・支援の充実に向けた教員体制のさらなる整備
3	I-3 全ての学校での特別支援教育の体制整備	視覚による情報保障など聴覚障害のある子供の合理的配慮の明示	<u>将来構想（案）に記載（P5）</u> 全ての教員が一人一人の子供について正しく理解し、適切な指導や合理的配慮を行うための資料の充実や活用の推進
4	I-3 全ての学校での特別支援教育の体制整備	特別支援教育支援員の配置の拡充と市町村間の均衡ある配置	<u>将来構想（案）に記載（P6）</u> 市町村教育委員会と連携した、特別支援教育支援員の配置、養成、資質向上研修の充実
5	II-1 支援情報の共有と連携した支援の充実	「難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本方針」に基づいた協議会の設置	<u>将来構想（案）に記載（P7）</u> 関係機関との連携推進のための会議の開催、既存の諸会議の統合等による、連携した支援を効果的に実行するためのネットワークの強化
6	II-2 就業前から卒業後までの適切な支援の引継ぎ	多様な学びの場で学ぶ障害のある子供の把握と必要な連携や接続、継続的な追跡支援	<u>将来構想（案）に記載（P7）</u> 適切な支援のための情報を引継ぎ、切れ目のない支援を行う体制を整備

番号	項目	主なご意見の概要	対応状況
7	Ⅱ－３ 地域と連携したキャリア教育や生涯学習	成人障害者や障害者当事者団体の協力による障害のある児童生徒の学びの充実	<u>将来構想（案）に記載（P8）</u> 地域の事業所、住民等と連携した仕事の体験や社会生活の体験をはじめとする学習活動の取り組みを推進
8	Ⅲ－１ 特別支援教育の十分な専門性の担保	教員の情報アクセシビリティ等の考え方や、手話言語、要約筆記等の技術の習得	<u>将来構想（案）に記載（P9）</u> 障害種別の専門性の維持・向上のための研修に関するニーズの調査と研修の充実
9	Ⅳ－１ 新しい技術を活用した学習における支援	聴覚障害のある子供への音声認識アプリなど情報アクセシビリティに配慮したICT機器の活用、リテラシー教育の実施	<u>将来構想（案）に記載（P11）</u> ICTの活用による、障害による学習活動の困難の解消、分かりやすい情報の提供
10	Ⅳ－３ 専門家と連携した障害に応じた指導	専門家として、言語聴覚士、手話通訳士の配置、外部専門家へ相談できる仕組みの整備及び人材の育成	<u>将来構想（案）に記載（P12）</u> PT・OT・STなどの専門家による授業の支援や必要な研修の充実、専門家との連携・協力のためのネットワークの構築
11	Ⅴ－３ 就労支援体制の充実	企業による合理的配慮の提供、環境整備、相談体制の充実	<u>将来構想（案）に記載（P14）</u> 障害の状態や職場環境等に応じた助言、業務への不応適や人間関係のトラブル等への相談の充実
12	Ⅵ－３ 指導の質と業務の効率の向上	教員の負担軽減、働きやすさの実現	<u>将来構想（案）に記載（P16）</u> 統合型校務支援システムの導入による、教員の業務の効率化、子供と向き合う時間や研修を行う時間の増加